

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市環境審議会委員の委嘱式 及び令和3年度第1回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和3年10月18日(月) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時20分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	市長が代行後、黒瀧 孝秀委員を会長に選出
出席委員(者)氏名	相葉 学、伊藤 雅道、加治 隆、川名 千鶴子、黒瀧 孝秀、 斎藤 令子、篠塚 玲子、高村 賢二、手島 吉紀、永井 健一、 中村 巖、新関 隆、平塚 基志、森 友和
欠席委員(者)氏名	中島 毅
説明者の職氏名	環境課長 浅川 英雄 環境課主事 神田 啓佑
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委嘱式 3 議題 (1) 会長・副会長選出及び挨拶 (2) 埼玉県西部地域まちづくり協議会構成5市による「ゼ ロカーボンシティ宣言」の表明について(公開) (3) 入間市における今後の環境政策について(公開) (4) その他 4 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	① 埼玉県西部地域まちづくり協議会「ゼロカーボンシティ」 共同宣言(宣言文) ②-1 地域脱炭素ロードマップ ②-2 入間市地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 策定スケジュール(案) ③ (仮称)入間市環境保全条例制定スケジュール ④ 令和3年度版 いるましの環境～第三次入間市環境基本 計画環境報告書～
事務局職員職氏名	【環境経済部】部長 原嶋 裕子、次長 戸澤 利彦 【環境課】 課長 浅川 英雄、主幹 廣瀬 光太郎、 主事 神田 啓佑
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

【委嘱式】

- 1 開会 進行：廣瀬主幹
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局職員紹介
- 6 会長・副会長の選出

【環境審議会】

- 1 会長・副会長より挨拶
黒瀧委員が会長に選出され議長となり、議事を進行
- 2 下記の議題について事務局から説明し、意見交換を行った。
委員からの質疑については、事務局が回答した。
 - (1) 埼玉県西部地域まちづくり協議会構成5市による「ゼロカーボンシティ宣言」の表明について（報告事項）
 - (2) 入間市における今後の環境政策について
 - ①地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について
 - ②環境保全条例の策定について
 - ③組織改編による環境政策の見直し・方向性について
 - ④令和3年度版 いるましの環境 第三次入間市環境基本計画報告書について
- 3 その他 事務連絡
- 4 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>入間市環境審議会条例第6条により、私が議長を務め、議事に進ませていただきます。</p> <p>はじめに、議事(1)埼玉県西部地域まちづくり協議会構成5市による「ゼロカーボンシティ宣言」の表明について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料①を用いて説明)</p>
黒瀧議長	<p>続いて、議事(2)入間市における今後の環境政策について、4点の議題でございます。まず初めに地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料②-1、2を用いて説明)</p>
黒瀧議長	<p>ダイア5市によるゼロカーボンシティ宣言に沿って、ゼロカーボンを推進していくため、地域脱炭素地球温暖化対策の実行計画を策定するという流れで、詳細な資料②-2に沿ったロードマップに従って作ってするための事前調査が11月から、来年の1、2月の初旬までということになっています。その後、計画書の案を作成するというので、この計画書の案から審議会が関わってくるということによろしいですか。</p>
浅川課長	<p>事前調査は2月頃終了します。その結果を皆様方にご報告をさせていただくのが今年度を予定しています。この案を元に来年度、資料②-2の事業について進めさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧議長	<p>様々な事情によって多少異なる部分があると思いますが、この流れで来年度、策定のご審議をお願いしたいと考えています。</p> <p>皆様よろしいでしょうか。具体的にこのスケジュールを基準として策定へ向けて動いていくということです。案ということですので、ご承認いただくという必要があります。次の議題に進んでよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧議長	<p>それでは、環境保全条例の策定について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料③を用いて説明)</p>
黒瀧議長	<p>環境保全条例につきましては、他の自治体では条例を策定されていて、入間市の要綱をベースに条例に上げるということを伺っております。この内容につきましても今後、環境審議会で内容を審議していくということを伺っておりますのでご協力をお願いいたします。</p>
手島委員	<p>質問ですが、そのような計画と条例とは関係があるのですか。</p>
浅川課長	<p>計画は地球温暖化対策基本計画です。環境保全条例に関しては、入間市の環境を保全するために、ある意味では環境施策を実行していく部分の条例ですので、基本的にはこちらの方も皆様のご意見をご審議いただきながら、進めていきたいと考えております。あくまでも地球環境の部分と、身近な環境と2つの異なる形でご審議をいただければと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
手島委員	関係ないということですか。
浅川課長	関係はございます。身近な環境も大事ですし、大きな環境問題も大事だということですよ。
手島委員	計画を見た上で条例の内容をどのようにするかどうするかを考えるのかと思いました。
浅川課長	<p>計画というのは、地球温暖化計画ですので、基本的にはゼロカーボンシティを目指すという前提の計画です。そしてもうひとつの環境保全条例は、あくまでも色々な生活環境を保全していくという意味で、関係してないところもありますが関係した部分もございます。</p> <p>身近な循環型社会を目指すために、環境保全条例も大切な役割を担っていると事務局としては考えております。</p>
手島委員	計画をある程度理解してから条例の方に行った方がわかりやすいと思いました。
黒瀧議長	地球温暖化対策実行計画と環境保全条例は確かに関連するのですが、計画は計画であり、条例は条例です。条例が結果的には市民に義務化されるということで、一方の温暖化対策実行計画はどちらかというと市の動きに近いイメージがあります。確かに似たような内容を審議する形になると思いますが、主体性が違う2つは別個として考える必要があるのではないかと考えています。
手島委員	同日に両方の内容を審議することは大変ではないですか。両方処理しきれないうちに何となく有耶無耶で進むような気がして仕方がないです。

発 言 者	発 言 内 容
浅川課長	<p>今、皆様のご意見においてこの内容が理解しにくい部分も確かにありますが、皆様のご意見を伺いながら、ある程度素案という形で出てくる時期が違いますので、それを踏まえて進行の方法を事務局の方で考えさせていただきます。</p>
黒瀧議長	<p>それでは進めていきたいと思いますが、よろしいですか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧議長	<p>では③の組織改編による環境政策の見直し・方向性について事務局から説明をお願いいたします。</p>
浅川課長	<p>(説明を行う)</p>
黒瀧議長	<p>専門的な部署ができるということですが、審議会の事務局は今まで通り環境課ということでよろしいですか。</p>
浅川課長	<p>事務局に関しては、組織改編に伴い、来年度以降、政策の専門の部署の方に移行する形になると想定しています。</p>
黒瀧議長	<p>この件について何かございますか。</p> <p>原嶋部長、よろしく申し上げます。</p>
原嶋部長	<p>現在環境課では、ゼロカーボンシティやSDGsなど課題がたくさんございます。これは市の行政だけではできないことで、企業や市民の方、将来的な子どもたちの皆が一緒に取り組んでいくというような方向性を示す</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧議長	<p>必要があると思っております。</p> <p>ゼロカーボンシティは先ほど区域施策編も作っていくということを申し上げましたが、入間市の環境をデジタル化するようなイメージを持っていただけたらと思っております。今の温暖化対策は2030年度には46%削減します。その目標を計画して区域施策編の中で掲げていきたいと思っております。それを実行するためにどのような事業をしたら良いのか。私たちがどのような行動をしていけば良いのかという事業も盛り込めたらと思っております。</p> <p>条例につきましては、浅川課長が申し上げたように、ポイ捨ての迷惑防止条例や、犬や猫等の身近な生活の中で環境について私たちができることを条例化するというイメージを持っていただけたらと思います。</p> <p>この2つを来年度同時に私たちは実施します。かなりハードなスケジュールですし、皆様にはご協力いただかないとできないと思っております。そのために、私たち事務局もこの体制を見直して、環境政策を考えるセクションを作って、その部署が全庁的なリーダーシップをとって、また入間市全体の政策を考えられるということが、組織改編による環境政策の見直し、方向性ということです。こちらにつきましては、現時点での案ですが、エコとクリーンの政策を考えるセクションと市民の環境関係、騒音や臭い、振動といった皆さんからの意見、苦情に対応するセクションを2つに分けて、来年度以降対応していきたいです。それだけこの環境政策は、重点を置いて取り組んでいくという市の姿勢でございます。</p> <p>大きな2点について我々はこれから審議していくということですので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、④令和3年度版入間市の環境第三次入間市環境基本計画環境報告書について、事務局から説明をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	(資料④を用いて説明)
黒瀧会長	例年より厚いようですが、事務局から特に重視して見ておいてもらいたいというご要望はありますか。
浅川課長	<p>今回から第三次環境基本計画に合わせた形の内容になっております。前回と違う形ですので、ご理解しがたい部分もあったかと思いますが、基本的には第三次環境基本計画に沿った形に修正しておりますので、万一不明な部分等がございましたら、伺わせていただければと思います。</p> <p>基本的には先ほどの地球温暖化計画の話で、区域施策編の話が出ております。この中に事務事業の内容を67ページから入っています。こちらについては、市の事業、市の施設の内容まで全て入っておりますので、併せてご覧いただければと思います。</p> <p>第三次入間市環境基本計画の進捗状況につきましては、環境審議会PDCAサイクルのチェックの役割をするということで、実際の令和2年度の実績が13ページから、72ページに結果が書いてありますので、こちらについて皆様にご審議いただくという形になりますので、特にこちらをご覧いただきたいと考えています。</p>
黒瀧議長	この点につきまして何か質問はありますか。
平塚委員	<p>後半の第3章の事務事業編を拝見すると、令和2年度までの実績値で二酸化炭素の排出量が出ています。民生についてはおそらくセクター別にいろいろ数値があるのですが、実際過去3年度ぐらいでどういう傾向なのか、もし数字わかるようでしたら教えていただければと思います。</p> <p>事業編の方で言うと、令和2年度の方が令和元年度よりも30%ぐらい増えているような数字になっていますが、その理由が何かわかるようであ</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅川課長	<p>れば教えていただければと思います。</p> <p>こちらは昨年の市の施設、市の事業CO₂対策の結果、68ページからになります。増加した理由は、まず市内における公民館の排出量で言いますと、70ページをご覧いただくと一番ご理解いただけると思いますが、例えば上段の自動車の項目別排出効果は排出量で言いますと、例えば施設、1番、2番の自動車、浄化槽関連は確かに減少傾向にあります。ただ他の部分3番、その他の廃棄物関連においては増加傾向という部分が令和元年度や令和2年度に増加してしまったという状況です。</p> <p>その他の項目で、71ページに飛びますが、その他の部分に細かく分析をしております。こちらの方は、基本的にプラスチックの焼却というところで、大きく増加しているという形になっております。そのため他のところではある程度減少または現状維持ですが、ごみの焼却においては、増加しているということが現在の課題ということで浮き彫りになっていまして、今後、事務事業も含めて、ごみの処理も関わってきますので、市民の方にいろいろとご協力もお願いすることが出てくるとと思います。その点においては区域施策編の中で目標等を定め、計画を様々な政策の中で行っていく形になると思います。</p>
黒瀧議長	<p>今のお話は次回の審議会の重要な部分になってきておりまして、結果的には省エネ法で求められているCO₂排出については下がっているのですが、それ以外のいわゆる非エネルギー由来のCO₂で増えているということです。</p> <p>パッと見ですけれども、昨年度よりも項目別に分かれていて私としてわかりやすくなった印象があります。</p> <p>特になければ議題は以上となります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
平塚委員	<p>事務局からの冒頭での地域脱炭素ロードマップについての事実確認をいくつかお願いしたいと思います。</p> <p>言葉の中では市内での実施ゼロとおっしゃっていて、市内というのは域内関係です。一方で今回は広域で行うのかと思い、その区域というのが他の自治体とも関係してくるということで、この対象のバイナリーをどのように捉えるかと思いました。</p> <p>例えば、飯能市のように森林がたくさんあるところとないところがあった場合、全部足し合わせて実質ゼロということなのかということが、些細なことかもしれないひとつです。</p> <p>もうひとつ、もっと些細なことは、脱炭素という言葉ですが、メタンの排出量もある中で、CO₂の部分も含めてゼロという解釈で間違いはないかというのが、2つ目です。</p> <p>独り言に近いですが、これから計画案をコンサルに発注するということで、出てきたものを審査した頃にはおそらくもう契約期間が終わっていると思いますので、どういう仕様でコンサルに出すのかは、この審議会でもご議論されてもいいのかなと思いました。2030年はもう9年後で近い将来ですが、ラインをどう設定するかはかなり大事だと思います。</p> <p>国に全体として46%もしくは次の選挙で相当数字が深まって50数%になりますが、別に自治体はそれを踏襲する必要はないのかなと思います。70%にしてもいいですし80%にしてもいいと思いますが、市の特徴を踏まえて、2030年にどこを通るかは、計画に関わってくると思いますのでどこまで審議会として関わるのかと思いました。</p>
黒瀧議長	<p>浅川課長からこの件について何かございますか。</p>
浅川課長	<p>まず区域のお話になると思いますが、まちづくり協議会の方で共同宣言を致しました。基本的にはまず自らの市で事業を行いましょう、という形</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧議長	<p>です。そのため、入間市は入間市、飯能市は飯能市でまず事業を行います。その中で連携して行う部分は、その次の段階で検討するという流れで最初は共同宣言させていただきました。ですから、それぞれの市で宣言の手続きをしております。ただし今後の話ですが当然、平塚委員がおっしゃったように、森林の吸収等も考えなくてははいけません。その上では森林が良いところを協力しながら、ということもありますので、現在、西部まちづくり協議会で検討し始める段階でありますので、現状はまずそれぞれの市で事業に取り組んでいくということです。</p> <p>業者委託に関しては、現状ではこの計画策定の部分が来年度の契約になります。そのため今後、4月を前提に業者と契約することで、計画本体を作成する業者がまた別にあるということでご理解いただきたいと思いません。先ほどご説明したのは、その計画は作成するための基礎データです。これを今年度、国の補助金を利用して二段階で計画を作る予定です。</p> <p>ダイア5市で何か共同して事業を行っていくということで、例えば排出量取引といったものが実現可能であれば、排出量取引をお互いにしていくということによろしいでしょうか。</p> <p>他にご意見・ご質問はございますか。</p>
加治委員	<p>資料①の埼玉県西部まちづくり協議会について、西部地域は5市だけでしょうか。それ以外にもあると思いますが5つを選んだ理由を、これから始める前に目的や作った理由、宣言が終わった後に活用することも含めて事前に行政のつながりではなく土地のつながり。例えば先ほどのご発言がありました、発生と吸収ということが基本的にあると思います。</p> <p>所沢、飯能、入間、狭山、日高はかなり発生の方を重視しています。そのため、協議会においてゼロカーボンシティ宣言を行ったというような感じがします。今回はもっと吸収の方を入れると考えるならば、協議会とい</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅川課長	<p>うのはおかしいのではないか。むしろ、西部地域の各市町村がそれぞれの内部で二酸化炭素削減に向けて事業を行って、それを全体にその共通性をまとめてそれが宣言になればいいと思います。行政区域の話ではなく、地域、いわゆる場所の繋がりを強調してはつきりさせて出てくる共同宣言という形にしてもらいたいと思います。</p> <p>確かに行政の区切りという部分もありますが、現状この共同宣言を結ぶにあたっては、それぞれの行政の中で検討した結果で決めた部分もござります。確かに吸収の部分考えた時に、もっと土地の繋がりを広くしたほうがいいのではないかとのご議論があるのですが、現状としてまず、この宣言に沿った事業をそれぞれの市で行う。その次に、協議会の方で行っていくという段階で考えておりますので、もし今の先の話ですと、もう少しこの内容が進んできたときに、もう少し広げてはどうかといった協議会の話が出ると考えています。</p>
黒瀧議長	<p>ゼロカーボンシティの宣言につきましては環境省で登録されているのですね。単独の市で登録しているところもあれば、都道府県単位で登録するところもある。入間市は、所沢、飯能、狭山、入間、日高の5市で登録している、と私は認識していますがよろしいでしょうか。</p>
浅川課長	<p>環境省の登録については、それぞれの市で行う形になっております。ただし、5市でも行っているダブルスタンダードの形で国の了承を得て行っておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
黒瀧議長	<p>では、その他に進みたいと思います。事務局から事務連絡等あれば、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>(審議会報酬と次回日程を説明)</p>

